

<日商簿記2級商業簿記ミニテスト リース> 問題

<問題>

以下の条件で契約したリース取引（ファイナンス・リース取引に該当）について（A）利子込み法と（B）利子抜き法によって、下記の日付の仕訳をしなさい。なお、利子抜き法の場合は、利息相当額を定額法で配分するものとする。また、決算日は毎年3月31日である。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

当座預金	支払利息	支払リース料	現金	リース債務
減価償却費	リース資産	リース資産減価償却累計額	未払利息	普通預金

[条件]

リース契約日：令和2年10月1日

リース期間：5年

見積現金購入価額：178,000円

年間リース料：40,000円（毎年9月30日に現金で後払い）

減価償却：残存価額を0円、耐用年数をリース期間とした定額法により行う。

記帳方法は直接法である

- (1) 令和2年10月1日
- (2) 令和3年3月31日
- (3) 令和3年4月1日
- (4) 令和3年9月30日

<問題>

利子込み法

	科目	金額	科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

利子抜き法

	科目	金額	科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				